

問題発見型／解決型学習(FBL/PBL)
テーマ提案（学生募集内容） / Project Proposal

テーマ名称 Project name	不利益な工業デザイン Industrial Design based on Benefits of Inconvenience
実施責任者 Instructors	デザイン学ユニット 特定教授 川上浩司 H. Kawakami, Prof., Unit of Design 総合博物館／情報学研究科システム科学専攻 准教授 塩瀬隆之 T. Shiose, Assoc. Prof., The Kyoto University Museum/ Dept. of Systems Science Graduate School of Informatics
実施協力者 Collaborators	東南西北デザイン研究所 石川新一 S. Ishikawa
テーマの背景 Background	「効率だけではダメだ」とはよく聞く言葉であるが、モノやコトをデザインする者にとっては「効率に代わるデザイン指針」を問われると、確たるものは思い当たらない。「モノに属するユーザビリティからコトに属するユーザエクスペリエンスへ」というスローガンはよく耳にするが、具体的な方策を問われると、これもまた暗中模索の段階にある。これらに対する一つの回答として、不便だからこそその効用（不利益）を活用するという指針あるいは方策が提出されている。
実習の概要 Overview	プロのインダストリアルデザイナーによる指導を受けながら、不便だからこそその益（不利益）が得られる物をデザインする。日本工業デザイナー協会の関西ブロックにて、「不利益なデザイン ～プロセスを楽しむプロダクト～」をテーマにした学生デザインコンペが実施される。当実習は、不利益発祥の地から、このコンペに応募するものである。 Supervised by a professional industrial designer, we will design products that implement benefits of inconvenience, and take part in the design competition for students held by JIDA (Japan Industrial Designers Association) Kansai Block. The competition is focused on benefits of inconvenience.
実施計画、実施場所 Schedule, location	吉田キャンパスおよび京都市内。詳細は実施計画を参照。 Location: Yoshida Campus and Kyoto City.
履修条件 Conditions for participation	特になし。 No condition.
募集人数 / Number of participants	3名以上, 12名以下 More than 3, less than 12
1次募集締切 Application deadline	10月6日（金）
応募資格 Intended participants	京都大学の学生。応募多数の場合には、デザイン学履修生を優先する。 Students of Kyoto University. In case of too many applicants, students enrolled in design school have a priority.
応募方法 How to apply	デザイン学公式 Web の FBL/PBL のページ（下記）から参加申込を行うこと。 http://www.design.kyoto-u.ac.jp/education/fbl_pbl/
参加者の決定 Decision of participants	10月11日（水）までにメールで参加の可否を通知。 ※1次募集で参加不可となった者を主な対象として2次募集を行う（10月13日～17日）。参加者枠に余裕のあるテーマに応募可能。（原則として先着順）

問題発見や解決に用いるデザイン理論やデザイン手法 Design theories and methods for framing and solving problems	不利益, ブレストバトル Benefit of Inconvenience, Brain-Storm Battle, 工業製品の不利益ハック 便利だと思いが、いまいち魅力かける現存製品を履修者が選び、カタログなどから機能やスペックを調査し、不便だからこそ魅力的にするための商品改造（安価な製品の場合）またはシナリオ改造（高価な製品の場合）を行う
理論や手法の学習方法 How to study theories and methods	実習中に、工業デザイナーの指導のもと、改造や作図、モックアップを実体験する Living experience facilitated by experts.
成果の公開方法 Publication of the results	JIDA (Japan Industrial Designers Association) 関西ブロック学生デザイン賞 2017 に応募する Entering the Design Contest for Students held by JIDA (Japan Industrial Designers Association) Kansai Block
成績評価方法 Evaluation	出席 4 割, 結果 3 割, 活動状況 3 割 Attendance rate, results of practice, and contribution to the class.
特記事項 Special remarks	テーマに関する質問があればメールで受け付ける We accept any question by e-mail to kawakami@design.kyoto-u.ac.jp

実施計画 / Schedule

コマ Unit	日程 Date	場所 Location	実施内容 Content
1-2	10 月下旬 late Oct.	吉田ファブ	導入と課題説明. 以降の日程 (13 コマ分, 2 月上旬までに実施) と場所の調整.
3-4	11 月上旬 early Nov.	吉田ファブ	既存製品のカタログ調査と便利害抽出からのアイデア出し サムネイルスケッチの表現、又は、100 均グッズ改造による簡易モック
5-6	11 月中旬 mid. Nov.	吉田ファブ	改造のモックアップ製作または構想カタログの作成 改良意匠図、または製品自体の改造、レンダリング
7-8	11 月下旬 late Nov.	吉田ファブ	コンペ向けパネルレイアウトのまとめ ストーリー性、製品の写真撮影方法、文字数、フォント選択
9	12/5 (火)	吉田、桂	中間発表会 (予定: 18 時~)
10-12	12 月中旬 mid. Dec.	吉田ファブ	JIDA (Japan Industrial Designers Association) 関西ブロック学生デザイン賞 2017 へのエントリー (12 月 25 日締切)
13-15	1 月中旬 mid. Jan.	吉田ファブ	同賞応募作品の作成と提出 (1 月 30 日締切)